

# 日本顕微鏡学会会報

2005  
No.1

社団法人 日本顕微鏡学会

■2005年3月31日発行

■〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6

■TEL: 03-5940-7290 ■FAX: 03-5940-7980

大塚三丁目ビル

■E-mail: satomi@r-sipec.jp

サイベック株式会社

■URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsm/index.html>

## ◇故下村義治先生を追悼して

材料中の点欠陥集合体の形成過程や照射効果の研究に、透過電子顕微鏡の手法を幅広く応用されてきた下村義治広島大学名誉教授が、平成16年11月28日膵臓癌のため67歳で逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈りします。

先生は昭和41年3月広島大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程を修了と同時に理学博士号を取得され、平成13年3月同大学を定年により退職されるまで広島大学に勤められました。退職後も広島工業大学において教鞭をとられ、死の直前まで照射効果の計算機シミュレーションに熱意を傾けていたと伺っております。

点欠陥集合体の形成過程に関する研究に対しては、昭和52年度瀬籐賞が日本電子顕微鏡学会より授与されておりますが、特筆すべきは日米科学技術協力核融合分野の一環として文部省と米国エネルギー省の間での取り決めに従って行われた、ローレンスリバモア国立研究所の回転ターゲット中性子源(RTNS-II)を利用した「極低温のクライオ・トランスファー実験」です。実験自体が高度な技術と忍耐力それに体力を必要とするものでしたが、他の方法では得ることの出来ない多くの成果と情報を得ることが可能になりました。

先生は原爆の被爆者であり、今でこそ我々はPTSDの重さを知っていますが、その認識の浅かった時代を先生が研究と教育に打ち込んでこられたことを顧みますと、改めて安らかなるご冥福をお祈りする次第です。

(広島大学 福島 博)

## ◇会費自動引き落としの件

自動引き落としの時期は、従来通りを予定しております。

## ◇日本顕微鏡学会第61回学術講演会について

本年度の、日本顕微鏡学会第61回学術講演会(JSM05)は、茨城県つくば市にて下記の通り開催されます。会員の皆様には是非奮ってご参加頂けますよう、お願い申し上げます。本講演会の詳細につきましては、本号に綴り込みのプロ

グラム、又はホームページをご参照下さい。なお講演の申込みは既に締め切っております。また早期参加登録の期限は平成17年4月15日(金)となっております。

1. 日程：平成17年6月1日(水)～6月3日(金)  
ただしチュートリアルや理事会等、一部の行事は5月31日(火)にも開催されます
2. 会場：つくば国際会議場(エポカルつくば)  
(茨城県つくば市竹園2丁目20-3)  
文部科学省研究交流センター  
(茨城県つくば市竹園2丁目20-5)  
東京駅、羽田空港等より高速バス。終点「つくばセンター」より徒歩約10分  
アクセス方法の詳細はホームページをご覧ください
3. 今回は、共通シンポジウムとして(1)「電子線トモグラフィ最新線」(2)「最新SEMの魅力を追う」(3)「ここまでできる共焦点顕微鏡法」の3テーマを取りあげました。この他、顕微鏡に関する最新研究開発動向から観察のノウハウまで、幅広い話題についてシンポジウム、一般セッション、ポスター講演、商業展示会、写真コンクールなどを、企画致しました。また5月31日(火)には、材料系の初心者を対象とするチュートリアル「FIBの基礎から応用まで」も開催されます。
4. 登録費：(懇親会費や発表要旨集CD-ROM代等、詳細はホームページをご参照下さい)  
早期登録(平成17年4月15日まで)  
顕微鏡学会会員6,000円、非会員9,000円  
通常登録(当日を含む)  
顕微鏡学会会員7,000円、非会員10,000円

## 5. 問合せ先

- (1) 実行委員長：松井良夫(物質・材料研究機構)  
TEL: 029-860-4401 FAX: 029-851-4976  
E-mail: MATSUI.Yoshio@nims.go.jp
- (2) 講演会事務局：(株)ICS コンベンションデザイン  
TEL: 03-3219-3541 FAX: 03-3292-1811  
E-mail: jsm05@ics-inc.co.jp

6. 講演会ホームページ : <http://quasi.nims.go.jp/jsm05/>

#### ◇第50回日本顕微鏡学会シンポジウムについて

2005年度シンポジウムを下記の通り開催します。奮ってご参加下さい。プログラムおよび詳細につきましては、顕微鏡第40巻(2005年)2号綴込で送付、およびホームページ<http://astec.kyushu-u.ac.jp/JSMSympo50/JSM2005/index.html>にて公開する予定です。

##### 1. テーマ：顕微鏡学による次世代への挑戦

サブテーマ：

ゲノム解析後の顕微テクノロジー(医学・生物系)  
顕微法と分光法の融合とナノテクへの貢献(材料系)

##### 2. 日程：

平成17年(2005年)11月1日(火)～2日(水)

##### 3. 開催場所：九州大学 医学部地区 百年講堂

(〒812-8582 福岡市東区馬出(マイダシ)3-1-1)

福岡空港から地下鉄で20分程度、JR博多駅から地下鉄、バスで15分程度

※医学部地区へのアクセスは

<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/hosp/acces.html>

をご覧ください。

##### 4. 実行委員会

委員長：桑野範之(九州大学産学連携センター)

副委員長：藤田 守(中村学園大学大学院)

問い合わせ先：九州大学産学連携センター

〒816-8580 春日市春日公園6-1

TEL: 092-583-8773(桑野), 092-583-7535(板倉)

FAX: 092-573-8729

E-mail: [sympo50@astec.kyushu-u.ac.jp](mailto:sympo50@astec.kyushu-u.ac.jp)

##### 5. シンポジウムの趣旨と内容

第50回という節目のシンポジウムでは、「顕微鏡で何ができたか」、「何ができるか」をじっくり考えたいと思います。電子顕微鏡を中心に考えてみますと、これまでに大きな進歩と停滞が繰り返されて現在に至っています。そのため鏡体・解析法、医学・生物系、材料系の各分野の状況はそれぞれ異なるフェーズにあります。鏡体・解析法については収差補正や3D技術をはじめとして多くの革新的な発展があり、理論的には可能であっても技術的には困難とされていたことが次々に実現されています。それをどのように応用するかが大きな課題です。

そこで、今回のシンポジウムでは、材料系を中心にしては顕微鏡学のナノテクへの応用に関する成果と課題をまとめます。とくに、文部科学省ナノテク総合支援プロジェクトの成果の紹介もメインテーマとします。一方、医学・生物系では、以前ほど電子顕微鏡の活用は見られなくなっているものの、鏡体・解析法の進展により、これまでとは異なる新規展開が期待されます。今回のシンポジウムでは、新たな観点と技術による形態顕微学への回帰・復興(ルネサンス)を探ります。

#### ◇第15回電子顕微鏡大学開催の御案内

—初心者と中堅のための電子顕微鏡技術セミナー—

電子顕微鏡はナノマテリアルをはじめとする先端材料の研究やバイオロジーの分野まで広い領域で、高度で有用な物質情報収集の担い手として、とみに存在感を増しつつあります。しかし、その機能と性能を十分に活用し、真に有用なデータを得るには、どうしてもある程度の基礎知識と操作の技術が要求されることも事実です。

こうした状況を踏まえ、材料研究に従事する研究者や技術者で、これから電子顕微鏡を利用しようとする人あるいは、始めて間もない初級・中級レベルの人を対象に、電子顕微鏡法の基礎的技術セミナー「電子顕微鏡大学」を開講しています。電子顕微鏡による材料の評価法及び分析法を講義して好評のうちに今回で第15回目を迎えます。アンケートによる受講者の意見の迅速な反映、好評の「質問・解答集」の送付など、受講者講師陣一体となった「平易で役立つセミナー」となるよう情熱を傾けています。次代を担う若き力の受講をお誘いいたします。今回より会場が東京工業大学デジタル多目的ホールに移動したことを機に、さらに講義内容の充実を図りたいと考えています。物質・材料研究の次代を担う諸兄の受講をお誘い致します。

日時：2005年4月18日(月)、19日(火)

会場：東京工業大学大岡山キャンパス社会理工学研究科棟デジタル多目的ホール

(大岡山キャンパス W9号館)

東京都目黒区大岡山2-12-1

会場地図はこちら

(<http://www.titech.ac.jp/access-and-campusmap/j/okayama-campusmap-j.html>)

交通：大岡山駅より徒歩2分

交通の詳細はこちら

(<http://www.titech.ac.jp/access-and-campusmap/j/access-j.html>)

定員：150名(定員に至った時点で締め切ります)

受講料：日本顕微鏡学会会員および同賛助会員30,000円、(テキスト代含む)協賛学会会員45,000円、非会員60,000円、学生10,000円

申込先：「電顕大学」事務局

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学エネルギー変換マテリアル研究センター マルチスケール機能集積分野内

TEL: 011-706-7580 FAX: 011-706-7580

E-mail: [dendai@ufml.caret.hokudai.ac.jp](mailto:dendai@ufml.caret.hokudai.ac.jp)

申込締切：2005年4月11日(月)

申込方法：表題を「第15回電顕大学参加申込書」とし、氏名・勤務先・所属・住所・電話・FAX・E-mail)、申込資格\*を記入のうえ、郵便またはE-mailのいずれかによりお申し込み下さい。定

員以内であれば、受理通知を差し上げます。受講料は受理通知受領後に納入してください。

\* : 1) 本学会会員, 2) 協賛学会会員, 3) 本学会賛助会員, 4) 非会員, 5) 学生のうちから該当の資格をお選びください。

1) については会員番号を, 2) については学会名・会員番号をそれぞれご記入下さい。

振込方法: 下記の口座に郵便振込にて受講料を申込締切日までにお振り込みください。振込が確認された時点で「受講証」と領収書をお送り致します。「受講証」は当日会場で御呈示して頂きますので大切に保管して御持参下さい。

振込口座 番号: 19070-2-6419291

名称: 電子顕微鏡大学

プログラム

〈第1日目〉4月18日(月)9:40~17:15

〈イントロダクション〉

1. 電子顕微鏡のハードウェア  
—基本構造のやさしい解説—

及川哲夫(日本電子)

〈電子顕微鏡特論(1)構造解析〉

2. 電子回折法—回折図形の原理と構造情報—  
田中通義(東北大・多元研)
3. 明視野像法, 暗視野像法  
—材料組織と格子欠陥の詳細な観察法—  
坂 公恭(名大・工)
4. 原子構造の解析
  - 1) 高分解能電顕法の基礎  
—格子像原理のわかりやすい解説—  
田中信夫(名大・工)

- 2) 高分解能電顕法の実際  
格子像観察で守るべき技術的ポイント  
市野瀬英喜(北大・エネマテ)

〈第2日目〉4月19日(火)9:30~17:50

〈電子顕微鏡特論(2)局所分析〉

5. エネルギー分散型X線分光法(EDS)  
—元素分析の原理と実際—  
板東義雄(物質・材料研究機構)
6. 電子エネルギー損失分光法(EELS)  
—電子構造の情報を捉える—  
倉田博基(京大・化研)
7. 試料作製法—最適試料作成法と新手法—  
上田 修(富士通研究所)

〈電子顕微鏡特論(3)表面分析〉

8. 表面のマイクロ構造  
—走査電顕(SEM・EPMA)SEM像と元素分析—  
永田文男(ソリューション・ナタ)
9. 表面の原子・電子構造  
—走査型トンネル顕微鏡(STM・AFM)原理と技術

的ポイント—

富取正彦(北陸先端科技大)

◇第21回分析電子顕微鏡討論会について  
第21回分析電子顕微鏡討論会を下記の要領にて開催いたします。

(代表責任者: 京都大・化研 倉田博基)

URL: <http://eels.kuicr.kyoto-u.ac.jp/bunseki21/>

分析電子顕微鏡の基礎から最先端技法まで

期 日: 平成17年8月30日(火), 31日(水)

会 場: 幕張メッセ(分析機器工業会主催の分析展と同時に開催)

参加費(予稿集含む): 会員及び協賛学会員6,000円, 学生3,500円, 非会員7,000円

内 容: EDS, EELS および CBED に関する基礎(チュートリアル)と分析技法の最前線(EELS, 高分解能観察, ホログラフィー)を紹介するとともに, 先端材料への新展開(ナノチューブ, 高分子, デバイス分析, 触媒微粒子)や試料作製法について講演が行われます。また海外から講師を招いて特別講演が催されます。一般からの口頭発表も募集していますので, 奮ってご参加ください。

申込方法: 氏名, 勤務先, 所属, 住所, 電話番号, Fax 番号, E-mail アドレスをご記入のうえ, 下記へお申し込み下さい(E-mail か Fax による)。講演を希望される場合は, 題目, 発表者(共同研究者も含む)を併せてご連絡下さい。

申込先(兼連絡先):

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学化学研究所 根本 隆

TEL: 0774-38-3054 FAX: 0774-38-3055

E-mail: [bunseki21@eels.kuicr.kyoto-u.ac.jp](mailto:bunseki21@eels.kuicr.kyoto-u.ac.jp)

一般講演申込締め切り: 平成17年6月30日(木)

参加申込締め切り: 平成17年8月20日(土)

プログラム(案):

8月30日(火)

〈10:00-12:00〉

チュートリアル

1. エネルギー分散型X線分光(EDS)法  
—基本から最近のトピックスまで—  
佐藤 馨(JFE)
2. EELS 入門—簡単な原理とできること—  
木本浩司(物材機構)
3. CBED による半導体の歪み解析  
添田武志(富士通研)

〈13:30-15:10〉

分析技法の最前線

1. 電子チャネリング EELS による原子サイト選択的電子状態分析  
武藤俊介(名古屋大)

2. カーボンナノチューブにおける点欠陥の生成・消滅過程の動的観察

末永和知 (産総研)

3. 高分解能用窒素冷却ホルダーの開発と金単層ナノチューブの発見

大島義文 (東工大)

4. 電子線ホログラフイーによるドーパント分布解析

松元隆夫 (日立中研)

<15:10-15:25>

休憩

<15:25-17:05>

先端材料への新展開

1. Analytical electron microscopy of B- C- N nanotubes

Dimitri Golberg (物材機構)

2. 高分子材料における電子線トモグラフィを用いた三次元観察と構造解析

陣内浩司 (京工繊大)

3. 半導体デバイス解析のための TEM-EELS 技術

朝山匡一郎 (ルネサス)

4. 分析電子顕微鏡による貴金属微粒子触媒の評価

秋田知樹 (産総研)

8月31日 (水)

<10:00-11:00>

試料作製法の新展開

1. Dual Beam FIB による TEM 試料作製応用

鈴木直久 (東芝ナノアナリシス)

2. ブロードなイオンビームを用いたバルク及び薄膜の新しい試料作製法

朝比奈俊輔 (日本電子)

3. 生体材料—褐色脂肪細胞のイオン分析—

佐々木貞雄 (兵庫医大)

<11:00-12:00>

一般講演

<13:00-14:00>

外国人講演 (ホームページをご覧ください)

<14:00-14:15>

質問回答コーナー

<14:15-14:30>

休憩

<14:30-17:10>

一般講演

#### ◇ SCAN TECH2005のご案内

走査電子顕微鏡分科会 / SCAN TECH 実行委員会  
走査電子顕微鏡分科会では“SCAN TECH2005”を例年通り開催します。“SCAN TECH”は、SEM 本体、周辺機器に関わる研究者、あるいは SEM を用いてあらゆる分野の研究をおこなう人々が一堂に集まり、講師、参加者、実行委員を交えて納得のいく討論をする場です。

最近の SEM は、装置の高分解能化に伴い、簡単な操作で試料の表面や内部の三次元微細構造を詳細に観察できるようになりましたが、その一方で、自分が観たい像を得るためには、試料の種類・観察の目的等により観察条件の変更や試料作製の工夫が必要となります。しかし、これらのテクニックに関しての情報はなかなか表に出ることがなく、また議論をする場も少なくなっています。

そこで、今年はこのような点をふまえて、“観たいものを見るための SEM テクニック～観察条件の最適化と試料作製法～”をテーマに、SCAN TECH2005 を下記の通り開催します。講演中だけでなく、会の終了後のミキサーにおいても、講師と直接、あるいは参加者同士、気軽にディスカッションが出来るような会になっておりますので奮ってご参加ください。

記

タイトル: 観たいものを見るための SEM テクニック  
～観察条件の最適化と試料作製法～

開催期日: 2005年9月2日 (金)

会場: 日本女子大学 100 年館

(東京都文京区目白台 2-8-1)

なお、詳細は走査電子顕微鏡分科会 HP

(<http://homepage1.nifty.com/scantech/>) に逐次掲示いたします。

#### ◇第50回学会賞 (瀬藤賞) について

2005 年度学会賞 (瀬藤賞) は 25 件の推薦があり、選考委員会からの答申のもと、理事会において以下の会員に授与が決定しました (第 3 回理事会議事要旨参照)。本年度学術講演会において受賞講演が行われます。万障お繰り合わせのうえ、ご来聴くださいますようお願い申し上げます。

[A: 顕微法基礎部門]

長谷川修司「4 探針型走査トンネル顕微鏡の開発と表面・ナノ電子輸送の研究」

[B: 応用研究 (生物) 部門]

該当なし

[C: 応用研究 (非生物) 部門]

末永和知「電子線エネルギー損失分光を用いた単原子元素分析に関する研究」

桑野範之「電子顕微鏡法による化合物半導体材料の微細構造解析と評価」

#### ◇第20回論文賞について

2005 年度論文賞は選考委員会からの答申のもと、理事会において、以下の論文に授与が決定しました (第 3 回理事会議事要旨参照)

[a: 顕微法基礎部門]

該当なし

[b: 応用研究 (生物) 部門]

Quantitative three-dimensional structural analysis of Exophila

dermatitidis yeast cells by freeze-substitution and serial ultrathin sectioning : JEM 52-2 (2003) : 133-143 : Sondip Kumar Biswas, Masashi Yamaguchi, Norihide Naoe, Teruhiro Takashima and Kanji Takeo

[c : 応用研究 (非生物) 部門]

Cathodoluminescence study of GaAs/GaAs multilayers grown on ridge-type triangles on GaAs {111}A substrates : 52 (2003) : 383-389 : T. Sekiguchi, Y. Sakuma, T. Takabe

[d : 和文誌賞]

「EDS の高性能化」: 電子顕微鏡, 38-2 (2003) : 131-133 : 副島啓義

#### ◇第10回技術功労賞について

2005年度技術功労賞は4件の推薦があり、選考委員会からの答申のもと、理事会において、以下の会員に授与が決定しました(第3回理事会議事要旨参照)

[物質系応用研究部門]

菅原健治「超高压電子顕微鏡周辺技術の開発と技術支援」  
倉嶋敬次「ナノ物質の分析電子顕微鏡観察技術」

#### ◇第6回奨励賞について

2005年度奨励賞は4件の推薦があり、選考委員会からの答申のもと、理事会において、以下の会員に授与が決定しました(第3回理事会議事要旨参照)

[物質系応用研究部門]

石丸 学「照射誘起構造変化とそれを利用した新規機能性材料創製に関する研究」

安田和弘「セラミックスの照射損傷過程に及ぼすはじき出し損傷、電子励起および電場の同時効果に関する研究」

#### ◇第51回学会賞(瀬藤賞)受賞候補者の募集

第51回学会賞(瀬藤賞)受賞候補者(推薦・自薦)を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡ください。推薦締切は本年7月11日です。

#### ◇第21回論文賞候補者の募集

第21回論文賞候補者(推薦・自薦)を公募します。推薦方法は過去2年間の学会誌(「電子顕微鏡」38・「顕微鏡」39巻、「JEM」52・53巻)に掲載された論文が対象となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡ください。推薦締切は本年7月11日です。

#### ◇第11回技術功労賞候補者の募集

故神谷芳弘先生からの寄付をもとに平成8年度から電子顕微鏡応用技術の進歩発展に関し、優れた功労のある方に技術功労賞を授与しています。本賞受賞候補者(推薦・自薦)を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦の締切は本年7月11日です。

#### ◇第7回奨励賞候補者の募集

故深井孝之助先生からの寄付をもとに電子顕微鏡学および顕微鏡法研究にかかわる若手研究者奨励のため、平成13年度から奨励賞を設置しています。本賞受賞候補者(推薦・自薦)を公募します(推薦締切:本年7月11日)。受賞対象者は本年7月末日において満40歳未満となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。

#### ◇2004年度技術認定試験結果の報告

2004年度技術認定試験は2004年10月16日に、東京・京都・福岡の3会場で実施されました。結果は次のとおりです。

##### 1) 二級技士(生物):

受験者65名 合格者61名(合格率94%)

2) 一級技士I: 受験者3名 合格者3名(合格率100%)

3) 一級技士II: 受験者1名 合格者0名(合格率0%)

4) 一級技士III: 受験者2名 合格者2名(合格率100%)

5) 一級技士IV: 受験者0名 合格者0名(合格率0%)

{二級技士(生物)認定者(合格者)}

菊池 亮(1030), 磯好人未(1031), 清水智子(1032), 福岡慶丈(1033), 岩城裕之(1034), 高林美法(1035), 武島千華(1036), 椎谷恵子(1037), 新城大輔(1038), 藤本純光(1039), 小島 隼(1040), 文室知之(1041), 伊藤由美(1042), 柳澤幸宏(1043), 初山弘幸(1044), 西村由里子(1045), 柳元圭史郎(1046), 福田篤志(1047), 増田麻衣(1048), 小宮山衣美(1049), 池田 彩(1050), 油本麻実(1051), 南村知代(1052), 松永明日香(1053), 片山千紗子(1054),

下村 歩(1055), 杉浦千織(1056), 西川幸希(1057), 金城優佳(1058), 藤原和子(1059), 堀川祥生(1060), 中井吉保(1061), 脇山直樹(1062), 中村政敏(1063), 張 春花(1064), 櫻林靖哲(1065), 上原泰子(1066), 長谷川亜樹(1067), 石井雅己(1068), 益田泰蔵(1069), 森 貴子(1070), 市川智士(1071), 大石 誠(1072), 森村吉博(1073), 沼田正男(1074), 栗原美子(1075), 藤原英記(1076), 鈴木展行(1077), 秦 珠子(1078), 藤田 圭(1079), 森 健一(1080), 会田良行(1081), 山本智史(1082), 渡辺悠人(1083), 宮木充史(1084), 夏木靖典(1085), 隠岐博文(1086), 鈴木裕也(1087), 岩井幸子(1088), 岡 春子(1089), 小原光祥(1090)

{一級技士I合格者}

織田志郎, 伊藤美奈子, 渡辺孝平

{一級技士III合格者}

伊藤美奈子, 前野健一郎

注) ( ) 内は認定登録番号

#### ◇技術認定委員交代の件

2005・2006年度標記委員に以下の会員を委嘱いたします

(平成16年度第3回理事会議事要旨参照、技術認定試験委員については理事会申し合わせにより掲載していません)。

#### 《認定委員》

立花利公\*2, 江原友子\*3, 大野伸一, 牛木辰男, 屋代 隆, 野村 嶷, 近藤俊三, 広畑泰久, 中村澄夫, 土肥良秋, 北重夫\*1, 福島球琳男\*1, 佐藤真美子\*1

\*1 新任委員, \*2 認定委員長, \*3 試験委員長

#### ◇顕微鏡新編集委員の件

新たに顕微鏡編集委員に光岡 薫・武藤俊介会員を、幹事に澤口 朗会員を委嘱いたします。森博太郎・丹司敬義会員が退任となります(平成16年度第3回理事会議事要旨参照)。

#### ◇平成16年度第1回理事会議事要旨

日 時:平成16年9月29日(水)13:30~15:30

会 場:新東京ビル7F会議室(理化学研究所東京連絡事務所)

出席者:理事:外村 彰, 澤田 元, 大野伸一, 平山司, 石村和敬, 松井良夫, 大貫惣明, 脇田 稔, 岩槻正志, 高野吉郎, 寺内正己, 倉田博基, 高井義造, 永山国昭, 友清芳二,  
監事:矢崎和盛

委任状出席:理事:森田清三, 監事:井出千束。

オブザーバー:市野瀬英喜(欧文誌編集委員長)  
丹司敬義(広報委員長)

#### 【報告】

1. 庶務報告:平山常務理事より会務報告が行われた。

本会の事務局となっている日本学会事務センター破産による緊急な事項を協議するため、9月8日に臨時常務理事会を開催したこと等が説明された。また、関西支部主催のセミナーについて報告があった。

2. 会計報告:松井常務理事から8月17日現在の会計報告が行われた。また、学会事務センターの預け金流用に関する新聞報道から破産にいたる経過説明および現状について報告があった。

3. 欧文誌編集委員会報告:市野瀬編集委員長から欧文誌の進捗状況報告が行われた。J.M. Cowley 名誉会員が逝去され、特集を組むこと、編集委員の交代について検討していくこと、欧文誌の電子化(印刷版の必要の可否)について和文誌に同封する形で会員へアンケートを行う予定であること、事務センターの破産に伴い、次号の発送は中西印刷から行う予定であること等が報告された。

4. 会員増強委員会報告:澤田委員長から日本学会事務センター破産により、会員増強活動が一時停止している旨、説明があった。

5. 広報委員会報告:丹司委員長から日本学会事務センター破綻に伴い、ホームページに関しては、国立情報学研究所(NII)のサーバーにて運用していきたい旨提案があり、

了承された。また、NIIの都合により会員専用ページはなくすことになる旨説明があった。

6. 第61回学術講演会準備状況報告:松井実行委員長から平成17年6月1日~3日につくばで開催される標記講演会進捗状況が報告された。①講演会前日(5月31日)に材料系初心者向けのチュートリアルを行うこと、②運営業者については3社からのヒアリングを行い、ICSに決めたこと、③原稿申込をWEBのみに限定すること(参加申込はFAXでも可能にする)、④発表については液晶プロジェクター使用を原則とすること、⑤予稿集はCD-ROM版とすることで検討を進めていること等が説明された。

#### 【議題】

1. 第50回シンポジウムの件:九州支部での開催を依頼することとした。

2. 第62回学術講演会の件:2006年が日本でのIMC開催年にあたることから同年に開催される講演会では一般講演は行わず、特別講演(シンポジウム)を数件程度と、総会等の諸会議を行う方式にて開催することとした。実行委員長には澤田副会長が推薦され、承認された。

3. 第15・16回電頭大学の件:高柳邦夫会員に標記企画委員長を委嘱することとした。

4. 第16回サマースクールの件:2005年度サマースクールは電子顕微鏡技術者の底辺を拡充するため、技術認定委員会協力のもと、東京周辺で開催を検討してはどうかとの常務理事会案が提案され、了承された。実行委員長には安田寛基会員が推薦された。

5. 平成17年度研究部会・分科会の件:標記募集要項・申請書案は原則、昨年度に準じた書式を作成し、学術運営委員会へ提案することとした。

6. 役員・評議員選挙に関する件

①各支部から推薦された役員候補者・評議員候補者(北海道14名、関東113名、関西72名、九州26名)を承認した。また、左記のほか、関東・関西支部から追加推薦のあった14名についても併せて承認された。更に理事会枠として追加の評議員がいないか、各理事が検討し、会長宛に推薦することとした。なお、大貫北海道支部長から再度、追加評議員がいないか、支部内で検討させてほしい旨の依頼があり、了承され、次回理事会までに回答することとなった。

②各支部から推薦された会長候補者を承認した。また、理事会推薦の候補者を協議・決定した。推薦された候補者は以下の通り。

北海道:推薦無, 関東:山科正平, 関西:黒岩常祥, 九州:黒岩常祥, 理事会:山科正平

③理事会推薦での理事候補者として協議の結果、以下の会員を選出した。

・松井良夫…執行部の継続性から現常務理事から

・柿林博司…継続性を考慮して会員増強委員から

④選挙管理委員長として大野伸一常務理事が推薦され、

承認された。委員については委員長へ一任することとした。

- ⑤役員候補者推薦委員会に関しては、会長候補者が2名であり、委員会業務である会長候補者の絞り込み作業がなくなったため、開催を見送ることとした。なお、各支部からは以下の会員が委員として推薦されていた。

北海道：大貫惣明、関東：永田文男、関西：井出千束、九州：柴田洋三郎

- ⑥顧問の検討：関西支部から志水隆一・井端泰彦・瀬口春道会員が、九州支部から天児和暢・山元寅男会員が推薦され、次回理事会以降、検討することとした。

#### 7. 各賞選考委員の件

大野常務理事より、平成17年度各賞候補者（論文）について報告が行われた。続いて、各賞選考委員について協議が行われ、以下の会員へ委嘱することとした。

瀬藤賞選考委員会：委員長：

市野瀬英喜（顕微法基礎部門主査兼）

応用研究（生物）部門：

若林健之（主査）、楠見明弘、藤本豊士

応用研究（非生物）部門：

進藤大輔（主査）、竹田精治、津野勝重

論文賞選考委員会：委員長：

田中信夫（顕微法基礎&和文誌賞部門主査兼）

応用研究（生物）部門：

西野武志（主査）、後藤俊幸、山田作夫

応用研究（非生物）部門：

坂 公恭（主査）、弘津禎彦、石塚和夫

技術功労賞選考委員会：委員長：

平賀賢二（装置・理論主査兼）

物質系応用研究部門：

平賀賢二（主査）、山本直紀、馬場則男

奨励賞選考委員会：委員長：織田正二

生物系応用研究部門：

年森清隆（主査）、小路武彦、出澤真理

物質系応用研究部門：

磯田正二（主査）、松村 晶、亘理文夫

#### 8. 学会事務局業務委託先選定の件

日本学会事務センター破産に伴い、新しい委託先の選定について平山常務理事から経過説明が行われた。

①まず、理事等から数社の推薦があった。②このうち、理事の所属する関連学会の業務を受託している中西印刷とサイベックに本会と事務センターとの契約書を資料として、見積を依頼した。③中西印刷は400万円程（業務内容が不明のため、一部のみ見積）、サイベックは800万円程であった。以上の説明を受け、協議の結果、サイベックへ委託する方向で検討することとした。以降の作業は常務理事会に一任し、今後の学会運営に支障をきたさないよう委託内容・見積の確認を行っていくこととした。

9. 入退会の件：平山常務理事より平成16年5月～6月の

会員異動について報告が行われ、承認された。

	正会員	学生	賛助
入会	24	3	4
退会	6	1	0

#### 10. 協賛依頼の件：承認

11. その他：次期事務局が立ち上がり事務業務が正常に進むようになるまでの当面の間、私的な時間を割いて本学会の円滑な運営のために、協力し続けている元事務センター担当職員に対し、アルバイト料を支払うことが了承された。

#### ◇平成16年度第2回理事会議事要旨

日 時：平成16年11月7日（日）16：00～18：00

会 場：名古屋大学大学院工学研究科5号館3階320号室

出席者：理事：外村 彰、澤田 元\*<sup>1</sup>、大野伸一、平山司、石村和敬、松井良夫\*<sup>2</sup>、大貫惣明\*<sup>3</sup>、寺内正己、倉田博基、高井義造、永山国昭、森田清三、友清芳二\*<sup>4</sup>。

オブザーバー：平井圭一（SAPEM組織委員長・第60回学術講演会実行委員長）、飯島澄男（IMC組織委員長）、古屋一夫（IMC組織委員）、田中信夫（第49回シンポジウム実行委員長兼IMC組織委員）、井上貴央（第15回サマースクール実行委員長）、長船哲齊（関東支部長）、鷹岡昭夫（関西支部長）、市野瀬英喜（欧文誌編集委員長・第14回電頭大学企画委員長）、森博太郎（和文誌編集委員長）、山口正視（技術認定委員長）、丹司敬義（広報委員長）。

委任状出席：理事：脇田 稔、岩槻正志、高野吉郎

監事：井出千束、矢崎和盛

\*1：学術運営委員長兼任、\*2：第61回学術講演会実行委員長兼任、\*3：北海道支部長兼任、\*4：九州支部長兼任

#### 【報告】

1. 庶務報告：学会事務業務の委託について、常務理事会で調査・検討を行った結果、サイベックへ委託することを決定し、2004年11月5日付で契約を行った旨報告された。また、事務局変更のお知らせを会員宛にE-mailにて連絡し、更に和文誌に同内容のお知らせを掲載し、会員全員へ告知することとした。

2. 会計報告：学会事務センター破綻に関し、同センターへの支払いが預け金を上回る見込みである旨説明があった。

3. 欧文誌編集委員会報告：欧文誌編集進捗状況と併せて以下の報告が行われた。

①平成17年度科研費申請書の作成を進めている。

②JEM電子化により印刷版雑誌希望の有無についてアンケートをとることとした。

③科学技術振興機構の電子ジャーナル（J-STAGE）に関する説明会に出席した。現行ではJEMのホームページが充実している印象であった。

④J.M. Cowly教授の特集が12月末日原稿締切で進んでい

る。

4. 和文誌編集委員会報告：和文誌編集進捗状況報告

5. 技術認定委員会報告：10月16日に東京・京都・福岡で電子顕微鏡認定試験（筆記試験）が行われ、10月30日に二級技士、一級技士Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの判定が東京で行われた旨の報告があった。また、以下の点について補足説明がされた。

①昨年より受験者が20名増えた。

②二級技士の平均点がよく、その要因として受験者がガイドブックをもとによく勉強したことが推測される。

③一級技士Ⅲについては写真の再提出を要請中であり、その結果を見て判定をだす。

6. 広報委員会報告：丹司委員長から学会事務センター破綻等に伴うホームページへの対応について、以下の報告が行われた。

①新ホームページが完成した旨のお知らせを会員へ10月末に行い、11月に旧ホームページを閉じた。

②リンクが古いURLになっているためYahooやリンク先に修正を依頼している。

③新ホームページの「誰か教えて」のコーナーで問合せがあり、適当な先生に回答をお願いしたが、ホームページに掲載されることを拒否されたため、掲載はしていない。

7. 学術運営委員会報告：澤田委員長から理事会に先立ち行われた標記委員会について、平成17年度分科会・研究部会申請要領（1月14日締切）が決定した等が報告された。

8. 支部報告：各支部長から各支部事業の中間報告が報告された。

9. 日本臨床電子顕微鏡学会報告：第36回日本臨床電子顕微鏡学会学術集会について本会との合同シンポジウムの様子などが報告された。また本学会第61回学術講演会のBS11「糖尿病性早期腎症への形態学的アプローチ」で同学会との合同シンポジウムが開催される旨、説明された。なお、日本臨床電子顕微鏡学会は同総会において、日本臨床分子形態学会へと名称変更が行われた旨あわせて報告された。

10. 第61回学術講演会準備状況報告：松井実行委員長より同講演会のプログラムについて説明があった。特別招待講演には白川英樹筑波大学名誉教授に、生物系特別講演には黒岩・山科会員に、材料系特別講演には中井 泉東京理科大学教授・飯島前会長に、外村会長には会長講演を依頼する予定である旨、報告があった。また、講演会前日にはチュートリアルを企画として行う予定であること、申込はWebのみにて行い予稿集はCD-Rのみとすること、発表は液晶プロジェクターを主とすることが併せて説明された。

11. 2006 IMC 準備状況報告

古屋・田中組織委員より標記の件について以下の報告があった。

①コンベンション業者の選定で3社から見積をとり、ICSが最適と判断した（理事会了承）。

②予算概算報告

③電子顕微鏡以外の分野をいれるよう IFSM から要請があったことから、1<sup>st</sup> Circular について更に検討することとなった。

④ IFSM 役員とセッション内容・スケジュール等について検討を行った。

⑤ Invited Speaker には旅費を支払い、オーガナイザーには支払わないこととした。

⑥ 2<sup>nd</sup> Circular は2005年10月までに配布予定のため、2005年6月までに内容を決定する必要がある。

⑦ 150名程度の若手を集めたプレスクールを行うこととした。

12. その他

1. 古屋 IMC 組織委員より2005年10月20日から23日に北京大学にて BCEIA2005 が開かれる旨、報告があった。同会議での Electron Microscopy & Material Science セッションの講師推薦依頼があったことが報告された。

2. 澤田副会長より少量核燃料物質の規制に関して、文部科学省原子力規制室から出された案について説明があり、検討を進めていくこととした。

3. 大野常務理事より前回理事会の決定を受け、第16回サマースクール実行委員長に安田寛基会員へ依頼したところ、「実行委員長は難しいが協力していただける」旨の返答を得た旨、報告があった。今回のサマースクールの運営が認定委員会の協力のもと行われることから現認定委員長の山口正視会員に同実行委員長を依頼することが提案され、了承された。

【議題】

1. 第50回シンポジウムの件：友清支部長より前回理事会で九州支部に依頼することとした標記シンポジウム開催について、受諾する旨の支部検討結果とともに、進捗状況として、2005年11月上旬頃に九州大学医学部百年講堂に於いて開催すべく検討を進めており、11月27日の九州支部総会・評議員会にて詳細を決める予定である旨報告が行われた。

2. 8APEM・第60回学術講演会決算の件：平井委員長より標記の件について報告があり、承認された（参加者1187名（企業展示担当者232名含、参加国は36ヶ国）。収支規模としては6,700万円となり、学会から受けた国際会議補助金のうち、200万円を返金する旨、説明された。

3. 第14回電頭大学決算の件：承認

4. 第15回電子顕微鏡サマースクール決算の件：承認

5. 役員・評議員選挙の件：

①大野常務理事より標記の件について各支部・理事会推薦の会長候補者・理事・監事候補者について説明があり、確認が行われ、承認された。なお、会長候補、理事・監事候補の略歴は再度各候補者に選挙管理委員会（事務局）から確認を行い、次回理事会に提出することとした。承認・確認された候補者は以下のとおり（（ ）内は推薦母体）。

会長候補：黒岩常祥（関西・九州支部）、山科正平（関

東・理事会)

理事候補：藤川清三（北海道）、上野武夫・関口隆史・福島球琳男・中村裕昭・横田貞記・川上速人（以上関東）、大谷 修・高井義造・永山国昭・弘津禎彦・平山司（以上関西）、桑野範之（九州）、柿林博司・松井良夫（以上理事会）

監事候補：依藤 宏（関東）、下山 宏（関西）

②役員選挙管理委員について大野常務理事（選挙管理委員長）から以下の4名の推薦があり、承認された。

佐々木崇寿、江原友子、小暮敏博、山本直紀。

③評議員候補者名簿について、確認・協議を行い、以下の会員を理事会推薦枠として、追加・推薦することとした。

北海道支部：柴山環樹、関西支部：平井圭一、監事：矢崎和盛、分科会・研究部世話人：山下美香・藤田大介・荒川秀雄、関東支部推薦から理事会推薦へ：堀内繁雄

④各支部から顧問として推薦された会員については所定の書式にて推薦書を理事会に提出してもらい、これを3月の理事会までに協議することとした。各支部から推薦された顧問は以下のとおり。

関東支部：大隅正子、関西支部：志水隆一、井端泰彦、瀬口春道、九州支部：天児和暢、山元寅男

6. 学会事務局の件：

学会事務局業務を委託する（株）サイベック（東京都文京区）に事務局を置くことが承認された。

7. 入退会の件：8月6日以降現在（11月7日）までに新入会13名、退会15名があったことが平山常務理事より報告された。

8. 協賛等依頼の件：日本表面科学会から依頼のあった「第45回表面科学研究会」への協賛・掲載について承認した。また、4件の大会等についてホームページに掲載した旨、平山常務理事から報告があった。

9. その他

①シーエムシー技術開発株式会社から和文誌へ同社で出版する「電子顕微鏡写真集 ミクロの世界」の広告掲載依頼があり、承認した。

②8APEMでの常陸宮殿下の特別講演を記念集として大会参加者への配布を前提として発行したい旨の提案があり、了承された。なお、発行費用は平井委員長（金沢医大解剖）において、発行元の記載は委員長に一任することとした。

#### ◇平成16年度第3回理事会議事要旨

日 時：平成17年1月28日（金）15：00～17：00

会 場：日本生命丸の内ビル27階 日立製作所本社会議室

出席者：理事：外村 彰、澤田 元（学術運営委員長兼）、大野伸一（選挙管理委員長・支部区割検討

委員長兼）、平山 司、石村和敬、松井良夫（第61回学術講演会実行委員長兼）、大貫惣明（北海道支部長兼）、脇田 稔、高野吉郎、倉田博基、高井義造、永山国昭、森田清三、友清芳二（九州支部長・第50回シンポジウム実行委員長兼）、監事：矢崎和盛

委任状出席：理事：岩槻正志、寺内正己、監事：井出千束  
オブザーバー：長船哲齊（関東支部長）、鷹岡昭夫（関西支部長）、市野瀬英喜（欧文誌編集委員長）、森博太郎（和文誌編集委員長）、山口正視（技術認定委員長）、古屋一夫（IMC組織委員）

#### 【報告】

1. 庶務報告：平山常務理事より下記2点の報告があった。

①会報：（2005-No. 1）に下村義治元理事の追悼文を掲載予定であり、福島 博会員に執筆を依頼した。②公益法人の見直しが行われているため今後動向に注意していく必要がある。

2. 会計報告

松井常務理事より12月31日現在の会計状況が報告された。また会費の自動引落についても次年度も引き続き契約が完了した旨報告された。

3. 欧文誌編集委員会報告

市野瀬編集委員長よりホームページにてJEMの印刷版の要・不要のアンケートを実施したが回答率が低かったため郵送にてアンケートをとりなおす予定である旨報告された。

4. 和文誌編集委員会報告：編集進捗状況報告

5. 技術認定委員会報告：2004年度認定試験結果について報告が行われた。

6. 広報委員会報告：「誰か教えて」のコーナーに2件問い合わせがあったことが報告された。

7. 支部報告：関西・関東支部から活動報告が行なわれた。

8. 金属関係学協会連絡委員会報告：2004年11月29日に行なわれた第1回金属連合協議会について報告が行なわれた。

9. 解剖学研連に係る報告：12月6日に行なわれたシンポジウム（試験研究用原子炉施設等の安全規制のあり方について）に係る報告が行なわれた。

10. 第61回学術講演会準備状況報告：準備状況報告

11. 2006IMC準備状況報告

12. 日本学術会議会員候補者に関する情報提供についての報告：大野常務理事より平成16年10月25日付けにて日本学術会議から依頼のあった会員候補者情報提供について理事会で書面審議の結果、11名の情報提供を行なった旨、報告された。

13. 第50回顕微鏡学会シンポジウム準備状況報告

友清支部長より標記シンポジウムの実行委員長に桑野範之会員を推薦する旨提案があり、了承され、委嘱することとし

た。また準備状況が併せて説明された。

13. その他：第16回サマースクールについて山口実行委員長より準備状況が報告された。

#### 【議題】

##### 1. 平成17・18年度役員・評議員選挙の件

大野選挙管理委員長より候補者の最終確認と投票用紙の確認が行われ承認された。所属については現時点での所属を記載することがあわせて確認された。

2. 各支部区割検討について：大野委員長より各支部区割に関しての各支部からの意見が紹介され、次回理事会までに決りきり検討委員会を開催し、理事会へ報告することとした。

3. 顧問推薦の件：前回理事会決定により志水隆一・瀬口春道・井端泰彦会員のを顧問推薦書が関西支部から提出され、審議の結果、承認された。

##### 4. 委員交代の件

4-1 和文誌編集委員会：森編集委員長より次期編集委員(6ページ顕微鏡新編集委員の件参照)、並びに次期編集委員長(菅沼龍夫会員)、副編集委員長(高井義造会員)が推薦され承認された。

4-2 技術認定委員会：山口正視委員長より次期技術認定委員・技術認定試験委員の推薦がおこなわれ、委嘱することとした(5ページ「技術認定委員交代の件」参照)。

5. 平成17年度研究部会・分科会申請の件：平成17年度設置について

審議の結果、以下の分科会・研究部会を承認した。( )内は世話人)

#### I. 分科会

- 1) 高分解能電子顕微鏡分科会(高柳邦夫)
- 2) 生体構造解析分科会(光岡 薫)
- 3) 走査電子顕微鏡分科会(山下美香)
- 4) 走査型プローブ顕微鏡分科会(森田清三)
- 5) ニューマイクロスコープ分科会(長村義之)
- 6) 分析電子顕微鏡分科会(倉田博基)
- 7) デバイス解析分科会(桑野範之, 平坂雅男)

#### II. 研究部会

- 1) アクティブナノ顕微鏡研究部会(藤田大介)
- 2) SPMで生命現象を捉える手法の開発研究部会(荒川秀雄)
- 3) 検出器・記録系研究部会(市野瀬英喜)
- 4) 微生物の構造・機能の顕微科学的解析研究部会(山田作夫)
- 5) ビーム誘起・励起効果研究部会(松村 晶)
6. 平成17年度学会賞(瀬藤賞)受賞者の件：  
市野瀬選考委員長より委員会での選考経過について説明があり、受賞者を決定した(受賞者等は4ページ「第50回学会賞(瀬藤賞)について」を参照)。

##### 7. 平成17年度論文賞・和文誌賞の件：

大野常務理事より委員会での選考経過について説明があ

り、受賞者を決定した(受賞論文等は4ページ「第20回論文賞について」を参照)。

8. 平成17年度技術功労賞受賞者の件：大野常務理事より委員会での選考経過について説明があり、受賞者を決定した(受賞者等は5ページ「第10回技術功労賞について」を参照)。

##### 9. 平成17年度奨励賞の件(大野常務理事)

大野常務理事より委員会での選考経過について説明があり、受賞者を決定した(受賞者等は5ページ「第7回奨励賞について」を参照)。

##### 10. 入退会の件

平山常務理事より平成16年7月～平成17年1月の会員異動について報告が行われ承認された。

	7月～1月	7月～1月	1月26日
	入会	退会	合計
			1994(海外26含む)
正会員	40	52	1915
学生会員	38	22	50
永年会員	0	0	29
名誉会員	0	0	31(海外5含む)
賛助会員	1	1	77
口数	1	1	142

##### 11. 協賛等依頼の件

平山常務理事より標記の件につき説明があり、5件の協賛・後援等を承認した。

##### 12. その他

12-1 外村会長より今後の検討事項について説明があった。

①会員増強委員会を再開し、副会長が中心となって会員増強に力を入れていくこと。

②アジア地区の学会との関わりについて今後の方針を検討していくこと。

③学会のアーカイブ作成を検討すること。

12-2 友清理事より平成16年11月の国際会議で日中間の交流を行ったこと、その際協力について申し出があり、上記②について友清理事が窓口となって今後検討していくこととした。

12-3 森編集委員長より上記③について大阪大学に瀬藤委員会の全記録があるのでそれを入れてはどうかとの提案があった。また、永山理事より国立民族学博物館にフィルムとして残していくのはどうかとの提案があった。

#### ◇学会の刊行物について

日本顕微鏡学会刊行物は日本医科大学で保管され、閲覧できるようになっていきます。閲覧を希望される場合は訪問日時などを予め以下へご連絡ください。

〒113-8602 文京区千駄木1-1-5

日本医科大学中央電子顕微鏡研究施設(広畑泰久)

FAX: 03-5685-5517

また、JEM 誌、電子顕微鏡誌、学術講演会・シンポジウム要旨集は以下の通り頒布しています。

- JEM 誌 (46 巻以降) : オックスフォード・ジャーナル  
〒113-0023 文京区向丘1-1-17-5F  
TEL: 03-3813-1461 FAX: 03-3818-1522
- JEM 誌 (45 巻以前), 電子顕微鏡誌, 学術講演会・シンポジウム要旨集 : (社) 日本顕微鏡学会事務局  
〒112-0012 文京区大塚3-11-6  
大塚三丁目ビル7F サイベック株式会社内  
TEL: 03-5940-7640 FAX: 03-5940-7980

#### ◇関係学協会の案内

##### 1) 2005 世界物理年

期 間 : 2005 年 1 月 1 日 ~ 2005 年 12 月 31 日  
問い合わせ先 : (社) 応用物理学会 会合通知係  
TEL: 03-3238-1041  
E-mail: kaigou@jsap.or.jp

##### 2) 第 5 回 (平成 17 年度) 山崎貞一賞, 財団法人材料科学技術振興財団

締め切り : 2005 年 4 月 30 日 必着  
問い合わせ先 :  
財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局  
TEL: 03-3415-2200 FAX: 03-3415-5987  
E-mail: prize@mst.or.jp  
URL: <http://www.mst.or.jp/prize/>

##### 3) 国際セラミックス総合展 2005

開催日 : 2005 年 4 月 6 日 (水) ~ 4 月 8 日 (金)  
場 所 : 有明・東京ビッグサイト (東京都江東区)  
同時開催予定 (全て同会場にて開催予定) :  
• センサ総合展 2005  
• JIMA2005 (第 2 回総合検査機器展)  
• TEST2005 (第 8 回総合試験機器展)  
連絡先 : 日本工業新聞社 (フジサンケイ ビジネスアイ)  
事業局 (担当 : 若月)  
TEL: 03-3273-6181  
E-mail: m.wakatsuki@sankei-net.co.jp

##### 4) The 10th International Conference on New Diamond Science and Technology (ICNSDT-10)

開催日 : 2005 年 5 月 11 日 ~ 2005 年 5 月 14 日  
場 所 : 独立行政法人産業技術総合研究所 共用講堂  
問い合わせ先 : ICNSDT-10 事務局  
日本コンベンションサービス内  
担当 : 千々松 (ちぢまつ)  
TEL: 03-3508-1213  
URL: <http://www2.convention.co.jp/ICNDST-10/>

##### 5) 第 9 回アジアメディカルショー

「医療と福祉・環境・未来を見つめて」  
開催日 : 2005 年 5 月 12 日 ~ 5 月 14 日  
場 所 : 福岡国際センター (福岡市博多区)

問い合わせ先 : 第 9 回アジアメディカルショー開催事務局  
株式会社 日本ジーニス内 (担当 : 富重)  
TEL: 092-852-5887  
E-mail: [ams@zenith-j.co.jp](mailto:ams@zenith-j.co.jp)

##### 6) 早稲田大学各務記念材料技術研究所教育プログラム 「評価技術の再認識と新しい応用」

場 所 : 早稲田大学 各務記念材料技術研究所 講演室  
(材料技術研究所キャンパス内 42-1 号館 1 階)  
開催日 : 2005 年 5 月 13 日, 5 月 20 日, 6 月 3 日, 6 月 10 日  
日 計 4 回

##### 7) 実習を主にした・初心者のための真空技術基礎講習会

開催日 : 2005 年 5 月 24 日 (火) ~ 27 日 (金) 4 日間  
場 所 : 大阪府立産業技術総合研究所  
申込締切 : 2005 年 5 月 16 日 (月)  
問い合わせ先 :  
大阪府立産業技術総合研究所内 (社) 大阪府技術協会  
TEL: 0725-53-5329

##### 8) 第 39 回表面科学基礎講座 表面・界面分析の基礎と応用

開催日 : 2005 年 6 月 20 日 (月) ~ 22 日 (水)  
場 所 : 総評会館 2F (東京都千代田区)  
問い合わせ先 :  
日本表面科学会 第 39 回表面科学基礎講座係  
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-13  
本郷コーポレイション 402  
TEL: 03-3812-0266  
E-mail: [shomu@sss.jp](mailto:shomu@sss.jp)  
URL: <http://www.sss.jp>

##### 9) 8th International Conference on X-ray Microscopy (XRM2005)

「第 8 回 X 線顕微鏡国際会議」  
開催日 : 2005 年 7 月 26 日 (火) ~ 7 月 30 日 (土)  
場 所 : イーグレ姫路 (姫路市)  
問い合わせ先 : (財) 高輝度光科学研究センター  
研究調整部研究業務課  
当真一裕 (JASRI), 仲田和代 (JASRI)  
TEL: 0791-58-0987  
E-mail: [xrm05@spring8.or.jp](mailto:xrm05@spring8.or.jp)

##### 10) 第 24 回電子材料シンポジウム (EMS-24)

開催日 : 2005 年 7 月 4 日 ~ 7 月 6 日  
場 所 : メルパルク松山  
問い合わせ先 :  
京都大学大学院 工学研究科 電子工学専攻 須田 淳  
TEL: 075-383-2301  
E-mail: [suda@kuee.kyoto-u.ac.jp](mailto:suda@kuee.kyoto-u.ac.jp)

##### 11) 第 45 回真空夏季大学, 日本真空協会

開催日 : 2005 年 8 月 24 日 (水) ~ 8 月 27 日 (土)  
場 所 : 伊豆 網代温泉 松風苑 (静岡県熱海市)  
問い合わせ先 : 日本真空協会 事務局  
TEL: 03-3431-4395

E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org

12) 第 21 回形態科学シンポジウム

「膜ドメインの機能 ～基礎から臨床研究まで～」

開催日：2005 年 9 月 17 日（土）

午前 9 時 30 分～午後 5 時

場 所：名古屋大学 野依記念学術交流館

問い合わせ先：

名古屋大学大学院医学系研究科

分子細胞学分野内事務局

〒 466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

第 21 回形態科学シンポジウム（代表：藤本豊士）

TEL: 052-744-2000

13) 第 46 回真空に関する連合講演会

開催日：2005 年 11 月 9 日（水）～11 月 11 日（金）

場 所：学習院大学 記念会館 3 階, 4 階

（東京都豊島区目白）

原稿受付及び問合せ先：日本真空協会 事務局

TEL: 03-3431-4395

E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org

14) 5th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices (第 5 回原子レベルキャラクタリゼーションに関する国際シンポジウム (ALC' 05))

開催日：December 4 (Sun) to 9 (Fri), 2005

場 所：OHANA KEAUHOU BEACH RESORT

(Hawaii, U.S.A.)

URL : URL: <http://momiji.esc.u-tokyo.ac.jp/alc>

問い合わせ先：Dr. Tsuneo YASUE Secretary of ALC' 03

Osaka Electro-Communication University

TEL: + 81-72-824-1131

E-mail: alc03@isc.osakac.ac.jp